

題材名 「友達との関わりをレベルアップ」 (第5学年 学級活動 (2))

■ 本事例のポイント

1. キャリア・パスポートの林間学校の振り返りを基に、題材に係る課題意識を高める。
2. 課題を考える際に、アンケート結果を提示することで、課題解決に向けた自己選択、自己決定へと促す。

■ 本時の目標

- ・林間学校の成果を振り返りながら、他者とよりよい関係を築いていくために、自分にできることを具体的に考え、目標を決定することができる。

■ 指導計画 (3 時間)

事前指導 (1時間)

「林間学校を充実させよう」

- ① 林間学校のめあてを考える。
- ② 友達との関わり方アンケートの実施。
- ③ キャリア・パスポートを活用した林間学校実施後の振り返り。

本時の指導 (1 時間)

「友達との関わりをレベルアップしよう」

- ・林間学校で得た成果を振り返りながら、友達とのよりよい関係を築くためにできることを考えて、1 週間の取組目標を考える。

事後指導 (1 時間)

「自分で考えた取組の記録を振り返ろう」

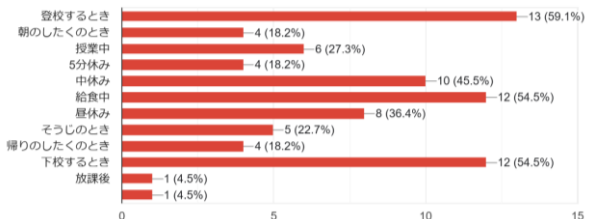
- ・ICTを活用して自分が決めた 1 週間の取組を振り返り、取組目標の達成状況を自己評価する。

■ 本時の概要

「友達との関わりをレベルアップしよう」

- ① 林間学校の振り返りを共有し、本時の題材を把握する。
- ② 事前アンケートの結果を見ながら現在の友達との関係を見つめる。
- ③ 友達とよりよい関係を築くためにできることを自分で考える。
- ④ 自分の考えについてグループや似た考えの友達と交流する。
- ⑤ 一人ひとりの意見を全体で交流する。
- ⑥ 友達とよりよい関係を築くために自分ができることを決める。
- ⑦ 本時の学習を振り返る。

どんな場面でもっと友達と関わりたいかと思...選んだときは、どんな時なのか教えてください。
22 件の回答



■ 学習調整をしている子供の姿



林間学校でできたことを学校生活でも生かせるといいね。

林間学校で自分も精一杯がんばったけど、みんないろんな場面で活躍してたんだなあ。頑張ってレベルアップしよう！



登校時や下校時は友達と関わっていないな。どんな関わり方ならできるかな。



朝、クラスがもっと元気な雰囲気になればいいな。私は朝、友達が元気になるようなあいさつをすることにしよう。



同じテーマの〇〇さんと話したら、とても考えが似ていたな。よし、自分で考えたことを自信をもってやってみよう！

■ 指導と評価の工夫

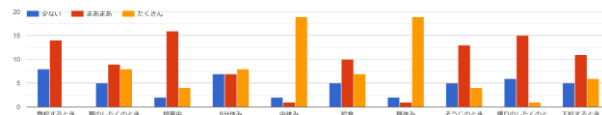
① キャリア・パスポートの林間学校の振り返りから、友達の頑張る姿や意外な姿への気づきが伝わる文章を紹介する。

- * 普段学校ではなかなか見られない友達の活躍について共有することができる。
- * 教師が積極的によいところ探しをすることにより、子供は友達のよいところを見つめようとする気持ちをもつことができる。

② アンケート機能で集約した結果を見て、課題を考える。

- * 教師は事前に子供がもっている課題意識を確認できる。
- * 子供は普段の様子を想起しながら課題について考えることができる。

学校での1日を振り返ると、どんな場面でどれくらいの人数の友達と関わっていますか。



③ アンケート結果をまとめた表から、自分ができていることを選択して、ネームプレートを貼り、意思表示をする。

- * 自分でできる取組について、自己選択・自己決定をする。
- * 自分と同じテーマの取組の友達を確認して、意見交換することができる。

■ 成果 (○) と課題 (▲)

- キャリア・パスポートを活用し、林間学校での友達への気づきを取り上げることにより、友達との関わりについて改めて考えさせることができた。
- アンケート結果をグラフで可視化することで、子供が自分でできることについて具体的に考えることができた。
- ▲ 意見交換の時間をもう少し長く設定できるとよかった。